

Q

## 鶴ヶ島市制施行30周年 について

かないずみ ふ き こ  
金泉婦貴子 議員



A

## 夢と希望を次世代につなぐ新たな スタートとする

# 市の考えを問う 一般質問

12月14日・15日・16日の3日間行  
われた一般質問の主な質問（Q）  
と答弁（A）の概要を掲載します。

**問** 市制施行30周年への思いについて。

**答** これまで本市の発展に御尽力いただいた皆様には、大変感謝している。この30周年という節目を更なる飛躍の原動力として、これまで継承された歴史や文化、自然、地域コミュニティ等を未来に引き継いでいきたい。  
**問** 記念事業を展開する予定はあるか。また、その内容は。  
**答** 市制施行当時に埋めたタイムカプセルの開封のほか、まちへの誇りと愛着を深めていただけるような取組を実施したい。  
**問** 未来を担う子どもや若者の参加に加え、地域資源を活用した市民総出の事業とする考えは。  
**答** 子どもたちや若い世代、子育て世代等を主役とした取組を中心に検討している。また、市民の皆さんをはじめ、ふるさと応援大使「鶴」などの鶴ヶ島に



市役所庁舎前に埋められたタイムカプセル

ゆかりのある方々や団体、企業等に御協力をいただき進めたい。  
**問** 記念事業において留意すべき事項について。  
**答** 感染症対策の徹底が必要である。状況により、実施方法の見直しも含めて柔軟に対応する。

### ◎その他の質問

一 がん教育について  
二 農業大学の跡地活用について



教育支援室「アペルト」

**問** 東京都福生市では、不登校の生徒を支援する「不登校特例校分教室」を設置し、学習用端末を1人1台ずつ貸与し、学習ソフトを活用し、家庭でも学習できるようにしている。また、文部科学省では、自宅でのICTなどを活用した学習を出席扱いにする定義を示している。本市の不登校児童生徒への取組は。  
**答** 欠席が続く児童・生徒に対し、家庭訪問等で家庭と連携を深めている。また、時間をずら

Q

## ICT活用での不登校 児童生徒への支援

やまなか  
山中 基充 議員



A

## 学習用端末で学習の機会を保障 していく

した登校等を認めるなどの配慮をしている。これに加えて、必要に応じて学習用端末等を貸与し、学習機会の確保とともに、様々なニーズに応え、より質の高い学習の保障に努めていく。

**問** 不登校児童生徒に対するICT支援員などの支援の在り方の検討は。  
**答** 本来は、学校で教師や仲間と関わりながら、様々な経験を積むことは教育的に意義がある。しかし、ICT支援員と連携し、学習用端末を有効に活用して、学習の機会をできる限り保障していきたいと考えている。

### ◎その他の質問

一 現場の分かるICT支援員を  
二 地域公共交通計画の策定を  
三 未来を育む鶴ヶ島へ